

# 市民要求実現へ河村市政をチェック 誰もが安心して暮らせる名古屋を



日本共産党

東区市政対策委員長

むらせ  
和弘  
かずひろ

1971年1月、大松通の和菓子店「お福餅」の長男として生まれる。少年時代は大曾根アーケード街の和菓子・団子店で店番の手伝いをする。名古屋市立明倫小、桜丘中、愛知県立長久手高、立命館大学文学部西洋史学専攻卒。現在、日本共産党愛知県委員会の「愛知民報」編集長。趣味は鉄道旅行（乗り鉄、乗りつぶし）、ドライブ、スポーツ観戦（格闘技、プロレス、野球など）、漫画・アニメ鑑賞。

東区民報

2022年秋冬号外 日本共産党の活動を紹介します。  
日本共産党名古屋東北西中地区委員会  
名古屋市北区御成通1-15 TEL:052-912-6096

## むらせ和弘のお約束

コロナと物価高から市民のくらしと営業を守る政治を

- 医療と保健所・保健センター体制の強化
- 小学校給食の無料化、中学校での全員制給食実現
- 大学・短大生等対象の給付型奨学金制度創設・奨学金返還支援制度実現
- 高すぎる国民健康保険料・介護保険料は引き下げ
- 敬老パスの「年730回」利用回数制限は撤廃

## 金持ち「減税」もうやめよう

必要なのは「消費税減税」を国に進言すること

河村市長が進めている「市民税減税」は市民の48.6%に恩恵がない金持ち減税です（最大減税は年440万円、年収14億円）。市民税減税をやめれば約92億円の財源が得られます。得られた財源を市民福祉に活用すべきです（小学校給食無料化は47億円）。

今必要なのは「消費税減税」と「インボイス制度の中止」です。河村市長は共産党議員に「消費税減税を国に求める考えはないか」と追及されてもダンマリです。



JR大曾根駅近くの「戦没者慰霊碑」を視察するむらせ氏

岸田自公政権が保有を検討している「敵基地攻撃能力」（反撃能力）。実際に行使されれば全面戦争になりかねません。太平洋戦争で大曾根・大幸周辺の軍需工場が爆撃され、多くの犠牲者が出た歴史に学び、「戦争する国づくり」に反対します。

「戦争する国づくり」に反対します

### 議員報酬は？

いったん800万円に戻し、市民参加で見直すべきです。共産党議員は800万円を超える部分を個人のものとしてせず、被災自治体に寄付しています。

# 現地に足を運んで調査 政治変革のジャーナリスト



## 敬老パスの利用交通機関拡大 JR・名鉄・近鉄・名鉄バス・三重交通も

年730回上限  
撤廃しよう

2022年2月から敬老パスで利用可能な交通機関がJR、名鉄、近鉄、民営バスにも拡大しました。日本共産党はいっかんにして敬老パスの拡充を主張。65歳支給を堅持してきました。引き続き「年730回」利用上限撤廃を求めます。



名鉄基幹バスを視察するむらせ氏

## 18歳まで入通院子ども医療費無料化実現

2022年1月から18歳年度末まで子ども医療費窓口無料化が拡大。政令指定都市では最高水準です。共産党は他党にさきがけて年齢拡大を要望、請願の紹介をしてきました。むらせ氏は社会保障充実を求める市民運動と連帯。県や市など自治体との交渉取材・報道してきました



社会保障の充実を名古屋市に申し入れる愛知自治体キャラバン実行委員会のみなさん  
=11月9日、むらせ氏撮影

くらし・福祉・福祉・教育充実へ  
こんどは議会で

「くらし・福祉・教育が充実している社会をつくりたい」——私が政治に関わるきっかけです。身体不自由だった母と、認知症だった祖母の介護・看取りも経験しました。今は小4児の子育て中です。

日本共産党は市民の運動と結んで、市政を動かし市民要求を実現。私もその一翼を担います。長らくジャーナリストとして活動してきました。今度は議会で！